

# 分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	<table border="1"><tr><td data-bbox="715 723 794 875">1</td><td data-bbox="975 723 1054 875">2</td></tr><tr><td data-bbox="715 904 794 1057">3</td><td data-bbox="963 904 1043 1057">4</td></tr></table>	1	2	3	4
1	2				
3	4				
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め				
上記のとおり分割撮影した事を証明する。					

0002  
0003  
0004  
0005

44

3

伍  
世  
保

# 部隊原簿



部隊原簿

第 一 〇 〇 〇 号



37A真

3

伍  
世  
係

# 部隊原簿

第一三六師團  
第三方面軍直轄

部隊原簿

第一三六師團  
第三方面軍直轄



# 分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	<table border="1" data-bbox="646 707 1182 1079"><tr><td data-bbox="646 707 906 893">1</td><td data-bbox="906 707 1182 893">2</td></tr><tr><td data-bbox="646 893 906 1079">3</td><td data-bbox="906 893 1182 1079">4</td></tr></table>	1	2	3	4
1	2				
3	4				
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め				
上記のとおり分割撮影した事を証明する。					

0006  
0004  
0008  
0008  
0006

所屬 第三方面軍直轄 部隊名第一三六師團司令部(一)

通稱號不拔三七二二〇

郵便所名

全般概要		轉入	轉出	員人制編	隊別	隊長名	關入	駐屯地	戰鬥間の狀況及損耗	終戦後の人員變動	作業大隊より入ソ迄の變動	入ソ人員	隊別計	滿洲殘留
二〇、七、一〇、編成下令 二〇、七、二八、遂陽にて 完成す 特大本師團は第二九師團 (雷)サイモン師團の殘留 員を基幹とし大部分は在滿 召集者を以て編成せしもの なり 爾后宮の原奉天東陵と其の 位置を換ふ 二〇、八、一四、奉天大山 會館に移動 奉天附近在滿召集者約二〇 名召解 二〇、八、一九、奉天にて 武裝解除 二〇、八、二〇、部隊全部 古城子に移動す 二〇、九、七、北陵に收容 二〇、九、一五、北陵編成 第三〇大隊 (長佐々木少佐) 當隊員約四〇〇名 二〇、九、一六、北陵邊黑 河、フタエニ經由 二〇、一、二、イルク ツク地區、タリツツに下 軍同時二ヶ大隊に改編 足立大隊(内P〇二五) 佐々木大隊(内P〇一五) 二一、二、一六、チレン 一、第一分所に收容					師團長	中將 中山 淳 (内は先代を示す)	關入 時員	駐屯地 奉天 上同		二〇、九、一九、師團長第三方面軍司令部に 出張其後不明	作業大隊より 入ソ迄の變動	入ソ人員		滿洲殘留
理管	部官副	部謀參	長國師											
右同	右同	右同	天奉											
右同	右同	右同	上同											

部隊名第一三六師團司令部(一)

通稱號不拔三七二二〇

郵便所名

人員編制				別隊	
理管	部官副	部謀參	長團師	隊長名	開人
				中將 中山 淳 (内は先代を不す)	戦時
右同	右同	右同	天奉	平時	駐屯地
右同	右同	右同	上同	戦時	
				戦闘間の状況及損耗	
				終戦後の人員變動 <small>二〇、一九、師團長三方面軍司令部に 出張其後不明</small>	
				作業大隊より 入ソ迄の變動	
				隊別	入ソ人員
				計	
				満洲残留	
				收容所名	收容所
				所入	
				死亡	
				満洲より	歸還人員
				ソ領より	
				計	
				者数	状況不明



二〇、七、一〇、編成下令  
 二〇、七、二八、遷移して  
 完成す  
 特に本編成に第二九師團  
 (舊)サイパン隊用の機雷  
 員を基幹とし大部分は左衛  
 門兵を以て編成せしめら  
 たり  
 爾后宮の原奉天東陵と共に  
 位置を換ふ

二〇、八、一四、奉天大山  
 倉館に移駐  
 奉天附近在籍者約二〇  
 名召解

二〇、八、一九、奉天にて  
 武装解除

二〇、八、二〇、部隊全部  
 古城子に移駐す

二〇、九、七、北陵に收容

二〇、九、一五、北陵編成  
 第三〇大隊  
 (長佐々木少佐)  
 當隊員約四〇名

二〇、九、一六、北陵釜蓋  
 河ノバラコエ經由  
 二〇、一、一、二、イルク  
 ヲク池原、ターリツツに下  
 軍同時二ヶ大隊に改編  
 足立大隊(内口〇二五)  
 佐々木大隊(内口〇一五)

二一、二、二六、チレン  
 一ヶ所一分所に收容


部 理 經	部 理 管	部 官 副	部 謀 參	長 國 師
右 同	右 同	右 同	右 同	天 奉
右 同	右 同	右 同	右 同	上 同

資料館蔵書

部 理 經	部 理 管	部 官 副	部 謀 參	長 官 輔
右 同	右 同	右 同	右 同	天 奉
右 同	右 同	右 同	右 同	上 同

二〇〇一年四月一日現在の状況を示す

# 分割撮影ターゲット

分割した部分の撮影順序	<table border="1" data-bbox="628 703 1161 1070"><tr><td data-bbox="628 703 890 891">1</td><td data-bbox="890 703 1161 891">2</td></tr><tr><td data-bbox="628 891 890 1070">3</td><td data-bbox="890 891 1161 1070">4</td></tr></table>	1	2	3	4
1	2				
3	4				
分割撮影した理由	A 3判以上のため				
上記のとおり分割撮影した事を証明する。					

0010  
0011  
0012  
0013

第三方面軍直轄 部隊名 第二三六師團司令部(二)

通稱號 不拔三七二二〇

郵便所名

全般概要				轉入		轉出		員人編	
部 醫 獸				部 醫 軍		部 器 兵		別 隊	
								(内は先代を不示)	
								隊長名	
								戰 闘 人	
								駐屯地	
								平時	
								戰時	
								戰鬥間の状況及損耗	
								終戦後の人員變動	
								作業大隊より	
								入ソソ迄の變動	
								除別	
								入ソソ人員	
								計	
								滿洲殘留	
								收	

隊名 第二三六師團司令部 (二)

通稱號 不拔三七二二〇

郵便所名

別隊	隊長名 (内は先代を示す)	戰鬥人員	駐屯地	平時戰時	奉天	獸醫部	軍醫部	兵器部
						戰時	平時	戰時
						右同	右同	
						右同	右同	同上
戰鬥間の状況及損耗								
終戦後の人員變動								
作業大隊より入ッ迄の變動								
隊別入ッ人員								
計								
滿洲残留								
收容所名								
所入								
死亡								
滿洲より領								
計								
者數								
状況不明								


	部 器 殿	部 器 軍	部 器 兵
	右同	右同	天奉
	右同	右同	上同


	部 醫 獸	部 醫 軍	部 器 兵
	右同	右同	天奉
	右同	右同	土同

# 分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	<table border="1" data-bbox="635 712 1166 1081"><tr><td data-bbox="635 712 890 898">1</td><td data-bbox="890 712 1166 898">2</td></tr><tr><td data-bbox="635 898 890 1081">3</td><td data-bbox="890 898 1166 1081">4</td></tr></table>	1	2	3	4
1	2				
3	4				
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め				
上記のとおり分割撮影した事を証明する。					



0014  
0015  
0016  
0017

所 属  
第三方面軍直轄  
一三六師團

部隊名  
歩兵第三七一聯隊(一)

通稱號  
不拔三七二二一

郵便所名

全般概要		轉入	轉出	頁人制編		3409	
<p>二〇、七、一〇、本溪湖に於て編成、在滿召集者大部分なり</p> <p>二〇、八、九、奉天退却當時未だ缺員補充中の状態であつた</p> <p>終戦時は奉天退却中であつたが第一大隊のみ師團司令部と共に奉天に殘留し主力は本溪湖に移動した</p> <p>二〇、八、一八</p> <p>二〇、八、二三の兩日に互に在滿召集者の召集解除を行ひ其後同地で武解を受けた</p> <p>第二、第三大隊共に召集者多く第二大隊は僅に六〇名のみ武解を受けた</p> <p>二〇、八、二四、師團總司令部に於て海城に向つたが陸送途中途で多く兵力は終戦に於ては不明なるも、其後は不明なるも、その如く其地區に收容されて居るらし</p>		十九年以降	十九年以降	編制人員		3409	
第	隊中二第	隊中一第	部本隊大一第	部本隊	聯隊	別	隊
					大佐 前田 瑞穂	隊長名	( )内は先代を示す
						開人	戦時
						駐屯地	平時
同	右同	右同	天奉	湖溪本		戦時	戦時
				戰鬥間の狀況及損耗		終戦後の人員變動	
				作業大隊より		入ソノ返の變動	
				隊別		入ソノ人員	
				計		滿洲殘留	

三第	隊中二第	隊中一第	部本隊大一第	部本隊聯	別隊	員人副編
					隊長名 (内は先代を不示す) 大佐 前田 瑞穂	
					戦時 人員	
					平時 戦時 戦時	駐屯地
右同	右同	右同	天奉	湖溪本		
					戦闘間の状況及損耗	
					終戦後の人員變動	
					作業大隊より 入ソ」迄の變動	
					隊別 計	入ソ」人員
						滿洲殘留
					收容所名	收容所
					員所人 死亡	歸還人員
					より滿洲 よりソ領	計
					者 数	状況不明

隊名 歩兵第三七一聯隊(一)

通稱號 不拔三三三二二

郵便所名

二〇、八、一〇、本隊は  
於て、左記の如き大  
分なり

二〇、八、九、奉天退却  
時未だ決員補充中の状態  
ありしに、本隊は、  
終戦時に奉天退却に當りて  
るが第一大隊のみ師團司  
令部と共に奉天に留置し主  
力は本隊に移動した

二〇、八、一八  
二〇、八、二二の兩日に亘  
り在露召集者の召集隊を  
行ひ其後同地で武解を受け  
た

第二、第三大隊共に召集者  
多く第二大隊は僅に六〇名  
のみ武解を受けた

二〇、八、二四、師團長  
命令により海城に向つたが  
海城途中に多く兵士は  
病弱に倒れたものを知り其  
後は不明なるもウラン  
地区に吹寄せられて居る

3409

隊中統關機一第	隊中三第	隊中二第	隊中一第	部本隊大一第	部本隊聯
					大佐 前田 謙三
右同	右同	右同	右同	天 奉	嶺 溪 本

隊中銃開機一第	隊中三第	隊中二第	隊中一第	部本隊大一第	部本隊聯
					大佐 前田 憲徳
右同	右同	右同	右同	天幸	朝漢本

# 分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	<table border="1" data-bbox="635 707 1166 1077"><tr><td data-bbox="635 707 895 891">1</td><td data-bbox="895 707 1166 891">2</td></tr><tr><td data-bbox="635 891 895 1077">3</td><td data-bbox="895 891 1166 1077">4</td></tr></table>	1	2	3	4
1	2				
3	4				
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め				
上記のとおり分割撮影した事を証明する。					

0000  
0001  
0002  
0003

					全般概要	所属
					轉入 十九年以降	第三方面軍直轄 一三六師團
					轉出 十九年以降	
					員人制編	部隊名 歩兵第三七一聯隊(二)
隊中五第	隊中四第	部本隊大二第	李行隊大一第	隊小砲兵歩	別隊	
					隊長名 (内は先代を示す)	通稱號 不拔三七二二二
					戦時 人員	
					平時 戦時	郵便所名
					駐屯地	
右同	右同	湖溪本	右同	天奉	戰鬥間の状況及損耗	終戦後の人員變動
					作業大隊より 入ソ返の變動	
					隊別 計	滿洲 残留
					收	

部隊名 歩兵第三七二聯隊(二)

通稱 不抜三七二二

郵便所名

					出
					人員編
隊別	隊長名	開戦時	駐屯地	戦闘間の状況及損耗	終戦後の人員變動
歩兵小隊	(内は先代を示す)	開戦時	天 奉		
第一大隊行			右 同		
第二大隊本			湖 本		
第四中隊			右 同		
第五中隊			右 同		
					作業大隊より入ソノ迄の變動
					入ソノ人員
					満洲残留
					收容所
					所人
					死亡
					満洲より
					領
					計
					者
					数
					状況不明

隊小砲兵歩	隊中六第	隊中五第	隊中四第	部本隊大二第	李行隊大一第	隊小砲兵歩
右同	右同	右同	右同	湖溪本	右同	天奉



隊小砲兵歩	隊中六第	隊中五第	隊中四第	部本隊大二第	季行隊大一第	隊小砲兵歩
右同	右同	右同	右同	湖溪本	右同	天奉

# 分割撮影ターゲット

分割した部分の撮影順序	<table border="1" data-bbox="625 701 1157 1070"><tr><td data-bbox="625 701 884 887">1</td><td data-bbox="884 701 1157 887">2</td></tr><tr><td data-bbox="625 887 884 1070">3</td><td data-bbox="884 887 1157 1070">4</td></tr></table>	1	2	3	4
1	2				
3	4				
分割撮影した理由	A 3 判 以 上 の た め				
上記のとおり分割撮影した事を証明する。					

0022  
0023  
0024  
0025

全般概要					所 属
轉入 十九年以降					第三方面軍直轄 一三六師團
轉出 十九年以降					
員人編					部隊名 歩兵第三七一聯隊 (三)
第	隊中七第	都本隊大三第	奉行隊大二第	隊中銃關機二第	
別 除					通稱號 不拔三七三二一
隊長名 (内は先代を不す)					
戦開人					郵便所名
平時					
駐屯地					戦闘間の状況及損耗
右同	右同	右同	右同	湖溪本	
終戦後の人員變動					作業大隊より 入ソソ迄の變動
除別計					
満洲残留					

部隊名 歩兵第三七一聯隊 (三)

通稱 不抜三七二二

郵便所名

人員編制					別 隊
八 第	隊 中 七 第	都 本 隊 大 三 第	李 竹 隊 大 二 第	隊 中 銃 關 機 二 第	
					隊 長 名 (内は先代を示す)
					開 入 戦 時 員
					駐 屯 地 平 時 戦 時
右 同	右 同	右 同	右 同	湖 濱 本	
					戦 斗 間 の 状 況 及 損 耗
					終 戦 後 の 人 員 變 動
					作 業 大 隊 以 外 の 變 動 入 ソ 込 の 變 動
					入 ソ 込 人 員 隊 別 計
					滿 洲 殘 留
					收 容 所 名
					收 容 所
					死 亡 者
					滿 洲 以 外 領 土 へ 歸 還 人 員 計
					状 況 不 明 者 数

隊中九第	隊中八第	隊中七第	都本隊大三第	孝行隊大二第	隊中銃圖後二第
右同	右同	右同	右同	右同	源溪本

隊中九第	隊中八第	隊中七第	都本隊大三第	奉行隊大二第	隊中銃關機二第
右同	右同	右同	右同	右同	湖溪本

# 分割撮影ターゲット

分割した部分の撮影順序	<table border="1" data-bbox="630 701 1161 1070"><tr><td data-bbox="630 701 890 887">1</td><td data-bbox="890 701 1161 887">2</td></tr><tr><td data-bbox="630 887 890 1070">3</td><td data-bbox="890 887 1161 1070">4</td></tr></table>	1	2	3	4
1	2				
3	4				
分割撮影した理由	A 3判以上のため				
上記のとおり分割撮影した事を証明する。					

0029  
0028  
0027  
0026

所屬 第三方面軍直轄 一三六師團  
部隊名 歩兵第三七一聯隊(四)  
通稱號 不拔三七三二一

郵便所名

全般概要					編制人員
轉入					轉出
十九年以降					十九年以降
隊中通信	隊中砲隊聯	李行隊大三第	隊小砲兵歩三第	隊中銃關機三第	別隊
	少尉 神谷源之助				( )内は先代を不示す
					戰鬥間
					の状況及損耗
		右同	右同	湖溪本	駐屯地
					戰鬥間の状況及損耗
					終戦後の人員變動
					作業大隊より入ソ返の變動
					入ソ人員
					隊別計
					滿洲残留



部隊名 歩兵第三七一聯隊 (四)

通稱號 不拔三七二二一

郵便所名

人員編制					別 隊
隊 中 信 通	隊 中 砲 隊 聯	李 行 隊 大 三 第	隊 小 砲 兵 步 三 第	隊 中 銃 關 機 三 第	
	少尉 神谷源之助				隊 長 ・ 名 (内は先代を示す)
					戦 闘 人 員
					平 時
		右 同	右 同	湖 溪 本	駐 屯 地
					戦 闘 間 の 状 況 及 損 耗
					終 戦 後 の 人 員 變 動
					作 業 大 隊 以 上 の 變 動
					入 ソ ン 人 員
					隊 別 計
					滿 洲 殘 留
					收 容 所 名
					所 入 者
					死 亡 者
					滿 洲 領 土 以 外 へ の 歸 還 人 員
					計
					状 況 不 明 者 數

李行隊聯	隊小馬乘	隊中信通	隊中砲隊聯	李行隊大三第	隊小砲兵歩三第	隊中砲隊大三第
			少尉 神谷源之助			
				右同	右同	湖溪本

聯隊行	乘馬小隊	通信中隊	聯隊砲中隊	第三大隊行	第三步兵砲小隊	第三機銃中隊
			少尉 神谷源之助			
				右同	右同	湖溪本

# 分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	<table border="1" data-bbox="635 703 1169 1072"><tr><td data-bbox="635 703 898 887">1</td><td data-bbox="898 703 1169 887">2</td></tr><tr><td data-bbox="635 887 898 1072">3</td><td data-bbox="898 887 1169 1072">4</td></tr></table>	1	2	3	4
1	2				
3	4				
分割撮影 した理由	A3判以上のため				
上記のとおり分割撮影した事を証明する。					

0030  
0031  
0032  
0033

第三方面軍直轄  
一三六師團

部隊名 歩兵第三七二聯隊(一)

通稱 號 不拔三七二二二

郵便所名

全般概要		轉入	轉出	員入調編		別隊		隊長名		開入		駐屯地		戰鬥間の状況及損耗		終戦後の人員變動		作業大隊より		入ソノ人員		滿洲殘留	
<p>二〇、八、二一、左記駐屯地に於て天々武裝解除</p> <p>二〇、八、二二、左記駐屯地に於て天々武裝解除</p> <p>二〇、八、二四、全員退却</p> <p>在留百餘名を解</p> <p>(部隊の約%の人員)</p> <p>二〇、八、二九、海城に移動</p> <p>二〇、九、二七、作業第七大隊編成</p> <p>(長大尉嶋崎文四郎)</p> <p>二〇、一〇、旅大地區に前下復員隊</p> <p>聯隊長以下隊員三〇、兵二〇は主力と別れ、シヤン、シヤン、シヤン、シヤン方面に散在せしめられた</p> <p>参考</p> <p>作業第七大隊</p> <p>大隊長大尉嶋崎文四郎</p> <p>中隊長大尉嶋崎今朝夫</p> <p>少尉治田吉彦</p> <p>少尉深野安光</p> <p>少尉島田六一</p> <p>少尉竹内升夫</p> <p>同 西川 豊</p> <p>372</p>		十九年以降	十九年以降	3409		第一聯隊	第二聯隊	第一大隊本部	第二聯隊本部	中佐 重松 英雄	戦時	平時	戦時	戦時									
第	隊中二第	隊中一第	部本隊大一第	部本隊聯	別	隊	隊長名	開入	駐屯地	戰鬥間の状況及損耗	終戦後の人員變動	作業大隊より	入ソノ人員	滿洲殘留									
	右同	右同	右同	右同	陽	遠																	
	右同	右同	右同	右同	上	同																	

部隊名 歩兵第三七二聯隊(一) 通稱 不抜三七二二二

郵便所名

3409					出降	人員編
三第	隊中二第	隊中一第	部本隊大一第	部本隊聯	隊別	隊長名 (内は先代を示す)
						中佐 重松 英雄
						戰鬥間の状況及損耗
						終戦後の人員變動
						作業大隊より 入ソ返の變動
						入ソ人員
						満洲残留
						收容所名
						所人
						死亡
						満洲より領
						計
						者数
						状況不明



隊中銃關機一第	隊中三第	隊中二第	隊中一第	部本隊大一第	部本隊
					手 記 簿 類 目
右 同	右 同	右 同	右 同	右 同	記 帳 簿
右 同	右 同	右 同	右 同	右 同	主 計 簿



# 分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	<table border="1" data-bbox="635 696 1166 1066"><tr><td data-bbox="635 696 895 882">1</td><td data-bbox="895 696 1166 882">2</td></tr><tr><td data-bbox="635 882 895 1066">3</td><td data-bbox="895 882 1166 1066">4</td></tr></table>	1	2	3	4
1	2				
3	4				
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め				
上記のとおり分割撮影した事を証明する。					

0034  
0035  
0036  
0037

所屬  
第三方面軍直轄  
一三六師團

部隊名 步兵第三七二聯隊(二)

通稱 號不拔三七二二二

郵便所名

全般概要						全入 十九年以降		全出 十九年以降		員人別編	
隊中四第	李行隊大二第	部本隊大二第	李行隊大一第	隊小砲兵步	別隊	隊長名 (内は先代を不示)		戦時	戦時	駐屯地	戰鬥間の状況及損耗
											終戦後の人員變動
同	右同	右同	天奉	右同	陽遂						作業大隊より 入「ソ」迄の變動
											入「ソ」人員
											滿洲殘留

隊名 歩兵第三七二聯隊 (二)

通稱 號 不拔三七二三二

郵便所名

第	隊 中 四 第	李行隊大二第	部本隊大二第	李行隊大一第	隊小砲兵步	別 隊
						隊長名 (内は先代を示す)
						戦時 人員
						平時 駐屯地
同	右 同	右 同	天 奉	右 同	陽 遼	戦時 駐屯地
						戦闘間の状況及損耗
						終戦後の人員變動
						作業大隊より 入ソ返の變動
						隊別 計
						入ソ人員
						満洲 殘留
						收容所名
						收容所 人員
						死亡
						満洲 より 領 計
						歸還人員
						者 数
						状況不明

隊中六第	隊中五第	隊中四第	李行隊大二第	部本隊大二第	李行隊大一第	隊小砲兵步
右同	右同	右同	右同	天奉	右同	湯

隊 中 六 第	隊 中 五 第	隊 中 四 第	李行隊大二第	部本隊大二第	李行隊大一第	隊小砲兵步
右 同	右 同	右 同	在 右 同	天 奉	右 同	陽 逐

# 分割撮影ターゲット

分割した部分の撮影順序	<table border="1" data-bbox="628 703 1161 1070"><tr><td data-bbox="628 703 890 891">1</td><td data-bbox="890 703 1161 891">2</td></tr><tr><td data-bbox="628 891 890 1070">3</td><td data-bbox="890 891 1161 1070">4</td></tr></table>	1	2	3	4
1	2				
3	4				
分割撮影した理由	A 3判以上のため				
上記のとおり分割撮影した事を証明する。					

0038  
0039  
0040  
0041

所屬 第三方面軍直轄  
一三六師團  
部隊名 歩兵第三七二聯隊(三)

通稱 不拔三七二二三

郵便所名

全般概要					轉入 十九年以降	轉出 十九年以降	員人編	
第	隊中七第	部本隊大三第	隊小砲兵步	隊中銃關機二第	別	隊長名 (内は先代を不示)	開入 戦時 平時	駐屯地
右同	右同	陽達	右同	天奉				
戦斗間の状況及損耗					終戦後の人員變動			
作業大隊より 入「ソ」迄の變動					入「ソ」人員			
隊別計					満洲残留			
収					谷			

部隊名 歩兵第三七二聯隊 (三)

通稱 不拔三七二三

郵便所名

第	隊中七第	部本隊大三第	隊小砲兵歩	隊中銃關機二第	別除	人員		註屯地	戦闘間の状況及損耗	終戦後の人員變動	作業大隊より入ソ返の變動	入ソ入員		滿洲殘留	收容所		歸還人員	狀況不明者數	
						隊長名 (内は先代を示す)	戦闘人員					隊別	計		收容所名	員所入			死亡
右同	右同	陽遼	右同	天奉															



隊中九第	隊中八第	隊中七第	部本隊大三第	隊小砲兵步	隊中銃騎機二第
右同	右同	右同	陽遊	右同	天奉

隊中九第	隊中八第	隊中七第	部本隊大三第	隊小砲兵步	隊中銃關機二第
右同	右同	右同	陽遼	右同	天壽